

対ガボン共和国 事業展開計画

2022年 4月 現在

基本方針 (大目標)	経済開発と社会開発のバランスの取れた国造り支援
---------------	-------------------------

重点分野 1 （中目標）	社会・生活面の向上と格差是正												
開発課題 1－1 （小目標） 教育/ICT/コミュニティ開発	【現状と課題】 ガボンの教育分野における支援ニーズは依然として高く、特にリープビルやフランスビルにおいては校舎の過密化が問題となっており、多くの学校が増設及び整備を必要としている。地域格差も大きく、地域によっては電気やトイレといった必要不可欠なインフラが未整備の学校も存在する。また、2012年より就学前教育が義務化され、就学前教育の普及率は81%（2021年 UNICEF）であるが、地域格差が大きい。			【開発課題への対応方針】 我が国の教育協力政策である「平和と成長のための学びの戦略」を踏まえ、同国の「サービス産業育成計画」、「人間開発戦略」及び「教育・職業訓練・雇用プログラム」を支援するため、教育、ICT、保健、コミュニティ開発分野への技術協力等を通じて、社会・生活面の向上と格差是正を支援する。									
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 （億円）	SDGs	備考
					2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度			
	教育・雇用改善プログラム	①校舎の増築、改修を通じた学習環境の改善 ②教授法の見直し ③教育カリキュラムの見直し	教育/コミュニティ開発分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.30	4	
			教育/ICT/コミュニティ開発分野のJICA海外協力隊	JOCV									
教育/ICT/コミュニティ開発分野における研修			課題別研修他										
開発課題 1－2 （小目標） 保健	【現状と課題】 ガボンは、国家の優先的な課題として、保健医療システムの構築を挙げているが、油価下落に伴う政府予算の逼迫により十分な措置が取られていない。国内では保健医療の地域間格差が存在し、医療施設及び医療従事者の充実が課題となっているほか、医療環境の改善を講じる必要がある。また、ガボンの乳児死亡率（1000出産あたりの死亡数）は31.1（2019年世銀）と高く、母子保健の改善が喫緊の課題となっている。			【開発課題への対応方針】 社会格差の是正に貢献するため、保健分野におけるJICA海外協力隊の派遣及び草の根・人間の安全保障無償資金協力等のスキームを通じた支援を実施し、基礎医療等へのアクセスを向上させる。また、地球規模課題対応国際科学技術協力（SATREPS）を通じて医療の基礎研究のレベルアップを支援する。また、母子保健、障がい者支援、臨床検査器材分野への支援を中心に取り組む。									
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 （億円）	SDGs	備考
					2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度			
	国際レベルの医療提供プログラム	①医療従事者の養成・育成及び医療従事者の管理システムの構築 ②医療インフラの整備	保健分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.25	3	
			公衆衛生上問題となっているウイルス感染症の把握と実験室診断法の確立プロジェクト	科学技術							3.00	3,9	
			ウイルス迅速検出システムに関するビジネス案件化調査	案件化調査									
			保健分野のJICA海外協力隊	JOCV									
			保健分野における研修	課題別研修他									
			ガボンにおける若者の早期の望まない妊娠予防計画	無償						1.00	3,5	国連人口基金（UNFPA）連携	
			経済社会開発計画	無償						3.00	3		
			母子保健技術顧問	個別専門家									

[illegible]

その他	その他												
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
					2021 年度 以前	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度			
			アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)「修士課及びインターンシップ」プログラム	国別研修									
			SDGsグローバルリーダー	国別研修									
			アフリカ地域公共サービスのデジタル化に係る情報収集・確認調査	基礎情報調査									
			その他課題別研修	課題別研修他									

【凡例】 「協準」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「基礎情報調査」(＝基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」(＝課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(＝JICA海外協力隊)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(＝途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協力)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(＝草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「基礎調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」、実線「――」(＝実施期間)、破線「- - - -」(＝実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf